

地方 通信



北海道黄金道路の改修

北海道十勝國廣尾村から日高國浦河へ通ずる黄金道路は十勝日高を繋ぐ唯一の幹線路として、帯廣土木現業所で不斷の努力を拂つて完成したもので、近き將來省營バス運行を目的に年々多額の費用を投じ改修を加へてゐる。同所は災害のため完成以來被害が絶えず最近二十數ヶ所に大決潰を生じこれが復舊に三十四萬圓を要することになつたので、帯廣現業所から近く災害復舊費として取敢ず二十萬圓の工費を要求することになつた。尙現業所では將來災害の絶滅を圖るため道廳と折衝の上根本的に改良工事を行ふ方針である。

地方通信

福島縣下平市の鎌田橋成る

昨夏流失した平市神谷村間舊國道夏井川の鎌田橋は七月來架け換工事中のところこの程竣功したので、十一月三日落成渡橋式を舉行した。

茨城縣六號國道改修工事 事鍬入式の舉行

國土計畫上極めて重要性をもつ六號國道改修（東京仙臺間）の起工式は、十一月十二日午前十一時から水戸市三の丸國民學校において舉行された。湯澤内相、内務省國土局長（各代理）、山下東京土木出張所長以

下各係官、地元側辻山茨城、川村千葉兩縣知事、鈴木茨城縣經濟部長、貴衆兩院議員はじめ官民代表一千名參列、先づ國民儀禮に次いで修祓、降神、神饌の儀齋主祝詞を奏してのち、山下東京土木出張所長の手で鍬入れの儀が嚴かに行はれ、次いで内相代理の式辭山下東京土木出張所長の告辭、辻山茨城、川村千葉兩縣知事の祝辭があつて午後一時半式を閉じた。本改修工事は松戸、土浦間四百十二萬圓で十五年度より七ヶ年繼續事業、土浦、日立間九百二十七萬圓で十六年度より九ヶ年繼續事業とし、何れも内務省直轄工事でいよゝ本月下旬から本格的工事に着手するが、事業内容は勾配の整成、屈曲の緩和、路面鋪裝、幅員、局地擴張等で平均幅員は九米となる。

『桃源橋』假橋を架設

義公隱栖して大日本史を編せられた西山莊ゆきの要衝である茨城縣大田町西郊久米街道に架する桃源橋は、場所柄が場所柄で

あるので、現在の如き半潰れの有様として打捨ておくわけにはゆかぬため、大田土木出張所では瀾縫策ながら假橋を架す事として工費三千九百圓で工事中のところ、手順よく進捗近日中に竣工する。

高知縣に於ける愛護團體、優良工夫を表彰

高知縣では十一月三日明治節の佳日をして午前十時から縣會議事堂で、協力一致道路愛護に盡した優良道路愛護團體、優良修路工夫、道路愛護會を表彰、沖野知事から表彰狀ならびに金一封が授與された。

優良愛護團體

- (括弧内は各土木出張所)
- △一等 (安藝)室戸町、(大篠)大川村、(高知)能津村、上八川村、(須崎)大野見村、松葉川村、(支廳)下川口村、月灘村
- △二等 (安藝)室戸町、佐喜濱村、(大篠)横山村、前濱村、(高知)小川村、川内村、神谷村、(須崎)橋原村、仁井田村、

池川町、(支廳)清水町第三區、江川崎村、佐賀町

野見村、松葉川村、下川口村、月灘村

優良修路工夫

△三等 (安藝)馬路村、西分村、畑山村、野根町、甲浦町、(大篠)夜須村、久禮田村、東豐永村、大杉村、(高知)鏡村、土佐山村、三瀬村、弘岡上ノ村、一宮、高岡町、(須崎)長者村、尾川村、黒岩村、東又村、名野川村、佐川町、(支廳)東中筋村、白田川村、入野村、具同村、七郷村、橋上村

△安藝土木出張所

勤續年限

眞廣 信吉(五三) 和食村

中川 清(三五) 伊尾木村

七年

西村 菊治(四八) 赤野村

大塚 保(三六) 長岡村

十一年

△大篠土木出張所

弘瀬 滿美(五五) 地藏寺村

十三年

上池龜之助(四三) 横山村

北川 金岩(五二) 弘岡上ノ村

廿二年

△高知土木出張所

西 森次(五一) 朝倉

三年

森本 輝政(四五) 上八川村

又川 實馬(三七) 東津野村

七年

△須崎土木出張所

前田 勇(四九) 大崎村

十二年

神山 孝治(四七) 戸波村

東 宗次(四九) 江川崎村

十五年

△幡多支廳

門田 留時(五六) 三崎村

廿三年

室戸町、大川村、能津村、上八川村、大

道路愛護會

十年

高知縣下に於ける常會
の林道着工

安藝郡和食村白髮部落常會は時局に對應すべく豫て林道工事を起し、過般第一期線四百間を竣成したが、會員の火の玉の熱意により意外に進捗したので、これに力を得て直に第二期線四百五十間の工事に着手する事となり、過般來常會長小松盛重、村會議員小松重久、道路委員長小松猛馬氏等を中心として常會企畫部において立案中の處常會において滿場一致の賛成を得たので、晩稻刈入れの月末までに竣工させる豫定で直に着工した。

× × × × ×
× × × × ×

關門海底トンネル

北原 白 秋

警笛鳴らす試運轉

名譽の機關士誰でしよか

世紀の列車動かして

最初の驀進、驀進だ。

東亞のダイヤ、黒ダイヤ

貨車に積みこめ山ほども

科學日本の人ばしら

戰士のみ魂ありがたう

かがやく輪型つぎつぎに

こだまをかへす銀の壁

東亞のダイヤ、黒ダイヤ

貨車に積みこめ山ほども

嵐も瀬戸の潮騒も

響かぬ洞の南北

九州、本土、連絡の

レールは走るまつすぐに

東亞のダイヤ、黒ダイヤ

貨車に積みこめ山ほども

世界にまたとたぐひない

開通の日はいつでしよか

世紀の列車ぐわうぐわうと

見ろ見る驀進驀進だ

東亞のダイヤ、黒ダイヤ

貨車に積みこめ山ほども

(附記本稿は關門海底トンネル貫通の際にもされた北原白秋の遺稿である)